



東日本大震災とその後  
の計画停電では、多くの  
医療機関が自家発電設備  
を保有しながらも手術室  
や集中治療室、病棟への  
電力供給は不足とならざ  
るを得なかった。医療ニ  
ーズ高度化やデジタル化

PALETTE (バルテック) は、医用UPS (無停電電源装置) とリチウムイオン蓄電池、低圧LPガス発電機を連携した「病院向け停電対策システム」を発売した。主に病棟向けに、停電発生時も医療機器を停止することなく、これまでの自家発電設備では難しかった長時間(七十二時間以上)の安全な電力供給が可能になるとPRしている。

# 長時間の安全な電力供給 病院向け停電対策システム

バルテック

による最新機器増加に伴って必要電力も増え、コストや設置場所の問題で自家発電設備拡充も難しいため、十分な非常用電源確保ができていないケースが多いという。

同システムは、医療電気安全基準を満たした医用UPSと長寿命のリチウムイオン蓄電池、屋外稼働の防災用低圧LPガス発電機(使用温度範囲十五〜四十℃)を連携して導入の利便性が高いという。

同社では、自家発電設備の発電能力と医療機器に必要な電力とのギャップが大きい開設十年を超える病院等を主な対象として、

病院内設備や使用している既存の医療機器を調査し、導入済みの自家発電との併用を踏まえた最適な停電対策を提案している。

また同システムは、停電時のV電子カルテV医療事務パソコンV会計システムVナースコールVその他システム―維持にも有効なため、介護施設等への提案も積極的に行っている。

発電機は寒冷地にも対応。経済産業省の対象認定モデルとして蓄電池に補助金が適用されるほか、リースによる導入も可能。  
問い合わせは045(477)2005。

\*訂正： 使用温度範囲は、-(マイナス)15℃～+40℃ となります。